

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

(作成) 愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

百日咳

手足口病

定点医療機関コメント

溶連菌感染症、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、ヘルパンギーナ等

### 全数把握感染症発生状況

( )内は件数。結核(22)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(4)、梅毒(1)、麻しん(3)

### 2008年5月報

#### 定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

水痘	前週比0.9倍(355人 317人)
咽頭結膜熱	前週比1.0倍(114人 115人)
ヘルパンギーナ	前週比1.6倍(51人 98人)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

## トピックス

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

愛知県は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に関する注意情報を発表しました(5月29日)。

定点あたり患者報告数は過去5年の同時期では最も多く3.54人、前週比1.0倍(653人 645人)です。警報レベル(4.0人以上)の保健所は瀬戸、師勝、春日井、江南、半田、岡崎市、衣浦東部及び豊田市です。

【参考ページ】 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が流行しています(ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000015803.html>

### 百日咳(図1)

愛知県は、百日咳に関する注意情報を発表しました(6月5日)。

定点あたり患者報告数は0.07人、前週比0.5倍(25人 13人)です。1~23週の累積患者報告数198人のうち20歳以上は81人と41%を占めています。

【参考ページ】 百日咳が増加しています(ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000016029.html>

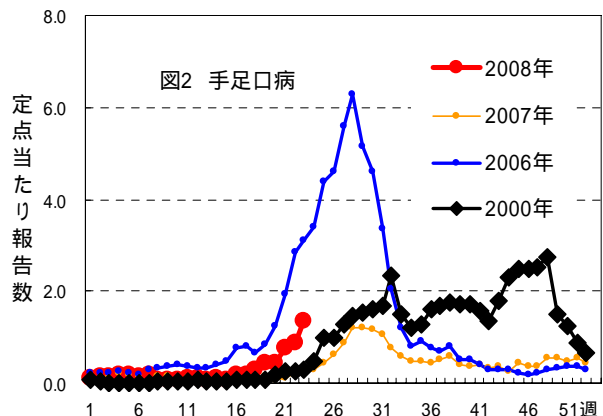
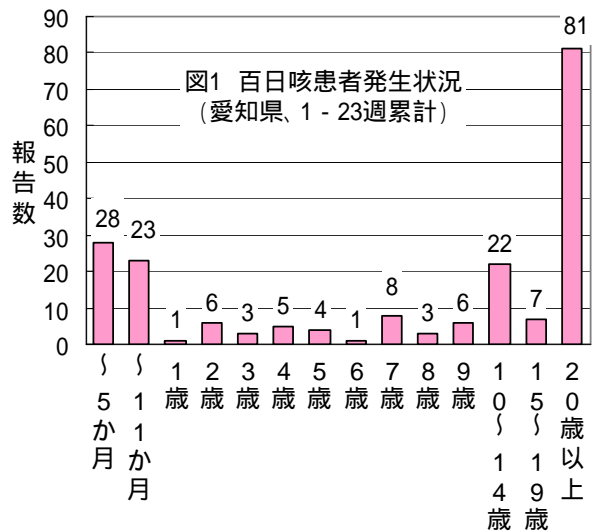
### 手足口病(図2)

定点あたり患者報告数は1.36人、前週比1.5倍(161人 247人)です。例年の流行は6月下旬~7月上旬に見られます。詳しくは参考ページをご覧ください。

【参考ページ】

「中国南部で手足口病死亡例が発生」

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hfmd2008.html>



## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

溶連菌感染症、アデノウイルス感染数例あり。  
発疹がなかったり、結膜炎のない例がある。  
【一宮市 後藤小児科医院】  
マイコプラズマ感染症 4名  
【一宮市 城後小児科】  
無菌性髄膜炎 2例  
【稲沢市 稲沢市民病院】  
水痘が多い。  
溶連菌も多い。  
インフルエンザ A 1例あり。  
手足口病増えてきました。  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

溶連菌感染症、感染性胃腸炎の流行続いています。  
手足口病増加してきました。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】  
流行性耳下腺炎、病原性大腸菌、アデノウイルス感染症（結膜炎なし）が目立ちます。  
インフルエンザ菌による急性扁桃炎の集団発生がありました。  
【犬山市 武内医院】  
溶連菌感染、水痘が多いようです。  
【春日町 丹羽医院】  
溶連菌感染症が流行しています。  
【北名古屋市 田中クリニック】

### 尾張東部地区

溶連菌感染症は相変わらず多くみられます。  
水痘、感染性胃腸炎も増えました。  
3歳女 病原大腸菌 O6  
3歳女 病原大腸菌 O78  
9歳女 病原大腸菌 O103  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
今週も溶連菌感染症流行続けております。  
ヘルパンギーナ、手足口病多くみられました。  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
アデノウイルス感染症が増えています。  
【春日井市 春日井市民病院】  
アデノウイルス感染症増加  
溶連菌感染症増加  
カンピロバクター腸炎 3例  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
百日咳は生後2か月でDPT未接種です。  
【小牧市 小牧市民病院】  
溶連菌感染症が相変わらず多く見られます。  
インフルエンザ 3例はA型です。  
【小牧市 志水こどもクリニック】

溶連菌が多くて困っています。  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】  
1歳女カンピロバクター  
【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】  
感染性胃腸炎散発  
【南知多町 医療法人大岩医院】  
アデノウイルス腸炎 6名  
【美浜町 厚生連知多厚生病院】  
胃腸炎のみつづいています。  
【東海市 こいで内科医院】  
手足口病が多いです。  
アデノウイルス感染症 8名（うち、咽頭結膜熱1名、結膜炎1名、あとは扁桃炎がほとんどです）  
ヘルパンギーナは軽症です。  
病原大腸菌 O1 1名  
RSウイルス 1名  
【東海市 もしもしこどもクリニック】  
病原大腸菌 O1(+) 10歳男ペロトキシン(-)  
病原大腸菌 O1(+) 4歳男ペロトキシン(-)  
胃腸炎が多いです。  
【大府市 まえはらこどもクリニック】

### 西三河地区

3歳女 *E. coli* (O1)  
11歳男 *E. coli* (O164)  
1歳男 *E. coli* (O44) + (O63)  
3歳女 *E. coli* (O1) + (O25)  
4歳女 カンピロバクター  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
病原性大腸菌 O126(+) 5歳男  
手足口病、ヘルパンギーナがやや増加  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
特記すべきことありません。  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
アデノ(+) 3歳男2人、3歳女  
3歳女 病原性大腸菌 O1(+) VT(-)  
【岡崎市 にいのみ小児科】  
3歳男 病原大腸菌 O8  
12歳男 病原大腸菌 O18  
4歳女 病原大腸菌 O1  
2歳女 病原大腸菌 O1  
7歳女 病原大腸菌 O1  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

溶連菌感染症、引き続き目立ちます。  
【碧南市 永井小児クリニック】  
マイコ気管支炎 9歳  
【刈谷市 田和小児科医院】  
アデノウイルス陽性 3名  
カンピロ腸炎入院 1名  
【知立市 宮谷クリニック】  
手足口病が始めました。  
【三好町 三好町民病院】  
病原性大腸菌 11歳男 O25(+) VT(-)  
病原性大腸菌 16歳男 O18(+)  
【西尾市 山岸クリニック】  
アデノウイルス感染症 4歳女、6歳男、5歳男  
病原性大腸菌 9歳男 (O74 VT(-))、  
4歳男 (O94 VT(-))、7歳女 (O8(+)  
O1)、0歳男 (O114 VT(-))、0歳女 (O1  
(+) O121 VT(-))、5歳女 (O1 VT(-))、  
9歳女 (O6 VT(-))  
病原性大腸菌 (O1 と O74) + カンピロバク  
ター 7歳男  
カンピロバクター 9歳男  
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

アデノ扁桃炎 1人  
 【豊橋市 マミーローズクリニック】  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増えています。  
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
 水痘患者が散発中  
 【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

4歳男、5歳男、2歳女 アデノ扁桃炎 3名  
 【豊橋市 医療法人野村小児科】  
 E.coli O18 2歳女  
 E.coli O86a 7歳男  
 【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）6月11日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun071228.pdf>)

結核（二類感染症）

報告保健所	23週報告数			2008年累計(1～23週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	9		2	345	109	27
豊田市	3	1	1	33	9	8
豊橋市	2	1		34	16	6
岡崎市	1	1		33	20	5
一宮	1			35	12	
瀬戸				56	22	7
半田				26	5	8
春日井	3			42	13	
豊川	1			18	9	2
津島				37	8	2
西尾	2		1	23	11	2
江南				30	10	1
新城				6	1	1
知多				51	11	16
師勝				18	5	2
衣浦東部				43	9	11
合計	22	3	4	830	270	98

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	12歳	男	5/26	5/29	6/1	O157、VT1(+ )VT2(+ )
2	名古屋市	48歳	女	-/-	6/3	6/5	O157、VT1(+ )VT2(+ ) 無症状病原体保有者
3	名古屋市	4歳	女	5/27	5/28	6/4	O26、VT1(+ )
4	岡崎市	8歳	女	5/21	5/24	6/2	O111、VT1(+ )

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	103歳	女	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	38歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	54歳	男	AIDS	性的接触	国内
3	名古屋市	38歳	男	AIDS	性的接触	国内
4	瀬戸	35歳	男	AIDS	性的接触	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	31歳	男	早期顕症	性的接触	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊橋市	20歳	男	不明	国内
2	豊橋市	24歳	男	不明	国内
3	津島	24歳	男	不明	国内

## 2008年5月分月報

(2008年6月6日現在)

5月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況

(診断日に基づく集計です)

2006～2008年に報告のあった 疾病名および病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2008年5月			2008年 累計 <愛知県全体>	2007年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類	結核	95	53	148	800	1435
(5)	(再掲) 無症状病原体保有者	20	5	25	80	118
三類	細菌性赤痢	0	1	1	9	25
(5)	腸管出血性大腸菌感染症	10	4	14 *	26	166
	内訳 患者	9	4	13	21	130
	無症状病原体保有者	1	0	1	5	36
	腸チフス	0	0	0	1	3
	内訳 患者	0	0	0	1	3
	無症状病原体保有者	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	1	0
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	1	8
	A型肝炎	0	0	0	1	6
	オウム病	0	0	0	0	1
	Q熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	3	4
	デング熱	0	0	0	3	7
	日本脳炎	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	1	1
	レジオネラ症	2	1	3	21	41
五類 (14)	アメーバ赤痢	0	3	3	27	59
	ウイルス性肝炎	0	1	1	5	8
	内訳 B型	0	1	1	5	7
	C型	0	0	0	0	1
	急性脳炎	1	0	1	6	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	2	3	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	3	6
	後天性免疫不全症候群	3	6	9	42	123
	内訳 無症候期	0	5	5	21	79
	AIDS	3	1	4	18	38
	その他	0	0	0	3	6
	ジアルジア症	0	0	0	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	2
	梅毒	4	2	6	30	75
	内訳 無症候	2	0	2	12	19
	早期顕症	1	2	3	17	52
	晩期顕症	0	0	0	0	1
	先天梅毒	1	0	1	1	3
	破傷風	1	1	2	4	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2	2
	風しん	1	0	1	3	-
	麻しん	21	13	34	166	-
	総 計	140	86	226	1159	1986

\* ; 026 4件、0103 1件、0157 9件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2008年5月			2008年	2007年
		愛知県	名古屋市	愛知県	累計	総計
		<名古屋市除く>		全体	愛知県全体	愛知県全体
性感染症定点	性器クラミジア	113	70	183	759	1,699
	性器ヘルペスウイルス感染症	44	33	77	290	576
	尖圭コンジローマ	25	23	48	193	462
	淋菌感染症	42	34	76	329	810
基幹定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	91	15	106	468	1,045
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	3	6	33	83
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	7

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2008年23週(2008年6月2日～2008年6月8日)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ*	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	52	17	2	13	115	645	1,048	317	247	9	157	13	98	117	1	3	0	0	6	2
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	2	12	79	507	747	231	167	9	123	8	78	99	1	3	0	0	2	0
名古屋市	70	70	11	15	5		1	36	138	301	86	80		34	5	20	18					4	2
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2	4	102	43	21	20	1	6		10	4	1				1	
海部津島	津島	7	7	2	2	1		5	18	114	22	9	2	11		4	2		1				
尾張中部	師勝	4	4	1	1				26	14	6	1	1	1			8						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		5	29	40	14	22		8		3	18						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1		9	15	80	67	14	1	11	2	10	10						
	江南	6	6	1	2			1	1	26	54	11		12			8						
知多半島	半田	6	6	1	2	1			5	26	49	7	1	7	4	16	2		1				
	知多	7	7	2	2		1		14	14	43	16	30		3	5							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1			7	36	25	11	1	20		3	11						
	衣浦東部	13	13	2	4	1	1		18	53	57	24	23		9	16							
	西尾	5	5	1	2	1			18	28	10	1		6	1	2	4						
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1			2	49	39	14		11	1	3	2					1	
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1			1	13	71	9		10		8	5						
	豊川	9	8	1	2	1			2	17	103	6	1	1	5	7	4		1				
東三河北部	新城	2	2			1								2									

\*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

愛知県感染症情報

2008年23週(2008年6月2日～2008年6月8日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ*	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	2	12	79	507	747	231	167	9	123	8	78	99	1	3	0	0	2	0
～6ヶ月	1				8	2			2	2								
～12ヶ月			2	3	42	14	4		63		4							
0歳																		
1歳			14	17	67	26	37		56		28	3						
2歳	1	1	7	27	62	45	23	1	2		15	9						
3歳		1	19	60	84	56	34	2			16	25					1	
4歳		1	20	91	102	50	34	1			9	20						
5歳		2	13	93	69	24	20	1			2	15						
6歳		1	3	64	49	9	4				1	15						
7歳				39	33	1	2	1				4						
8歳			1	25	32	1	4	3		1	1	3	1					
9歳				27	37	1	1			1	1							
5歳～9歳																	1	
10歳～14歳		1		34	61	2	4					3						
15歳～19歳				4	11							1						
20歳～				23	90					4	1	1						
20歳～29歳		2												1				
30歳～39歳		3												1				
40歳～49歳																		
50歳～59歳													1					
60歳～69歳																		
70歳～																		
70歳～79歳																		
80歳以上																		

\*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く